

重要文化財 石岡第一発電所施設見学会の実施

北茨城市教育委員会さまと検討しておりました重要文化財として石岡第一発電所活用方法について、2023年4月9日(日)北茨城市教育委員会生涯学習センターさま主催で、「重要文化財石岡第一発電所と周辺ウオーク」として施設見学会が開催されました。

当社は、設備説明で随行し、参加者は一般45名、北茨城市引率者3名で、石岡第二発電所近隣の十石堀（世界かんがい施設遺産）親水公園をスタートし、水槽・サージタンクを経由して石岡第一発電所見学後、親水公園に戻るルートで行われました。

高低差のあるルートを80代の方も参加されており、皆さんの体力には驚かされました。また、近隣の方で「何年ぶりかなあ久しぶりに来たよ」「何年もあるけど中を見たのは初めて、来てよかった」と言ってくれる方もおられました。

石岡第一発電所は、土木設備を日立の大煙突を設計した宮長平作氏、発電所機器据付は日立製作所創業者の小平浪平氏が手掛けられており、発電所の歴史についての説明では皆さん熱心に聞いておられました。

文化財保護法では「文化財の所有者は文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、大切に保存するとともに、公開する等その文化的活用に努めなければならない」と示されており、今回の見学で地域の方々に発電所を見て頂くことで、郷土の産業遺産についてご理解して頂くことができました。

今後も引き続き、北茨城市教育委員会と連携を図り若い方にも重要文化財に触れて頂くよう計画を進めてまいります。



写真-1 水槽 見学者



写真-2 水槽説明



写真-3 サージタンク



写真-4 サージタンク説明



写真-5 発電所説明



写真-6 発電所